

ファッションの未来を支えるメゾンの理念

文 中野香織 (服飾史家)

「カール・ラガーフェルド ファッションを創る男」というドキュメンタリー映画のなかで、1983年からシャネルのアーティスティックディレクターをつとめるラガーフェルドがこのように語る。「私はアイディアを出しデザインするだけ。形にできるのは熟練した職人技のおかげだ」

唯我独尊を演じているところもあるデザイナーが、素直に、職人に敬意と感謝を捧げる。それが口先だけではないという証拠に、シャネルは2002年から老舗のアトリエを傘下に収め、メティエダールコレクションを発表している。

メティエダールとは「匠の技」のことである。伝統的なアトリエの職人による高度な技術をふんだんに使い、年に一度のプレタポルテコレクションを行うのだ。時代の波に取り残され、消えてしまおうおそれもある職人の伝統的技術を、最新で最高のモード表現によって存続させ、未来につなげる。それがシャネルのメティエダールコレクションである。

刺繍の「ルサージュ」、靴の「マサロ」はじめ、フランスのオートクチュール業界を支えてきた数々の老舗アトリエは、危機の時に際しても、フランスのモードを救ってきた。第二次世界大戦中、パリがドイツ占領下にあったとき、ヒトラーはオートクチュールをパリからベルリンに移す構想を立てていた。だが、サンディ

カ(パリ・オートクチュール組合)会長ルシアン・ルロンの強い抵抗によって、実現しなかった。ルロンはこう主張したのである。オートクチュールとは、刺繍やアクセサリー、靴など、周辺のこまごまとしたパリの伝統産業の集積であり、そのすべてをベルリンに移すことなど不可能である、と。結果、パリのオートクチュールは、ベルリンに移らず、パリで生きながらえることができた。メティエダールコレクションは、フランスモードの救世主とも呼べるそのようなアトリエが、今後も安定した仕事を続けられるよう支援するというミッションも担う。

2018年のテーマは「マリンスタイル」。ラガーフェルドの故郷であるハンブルクがインスピレーション源である。デザイナーの記憶にある湾岸エリアの情景から着想を得たというコレクションは、陰影が魅力的なマリントイスト。船乗りの帽子にも、ざっくりニットにも漂う高級感は、高品質を約束する職人技が支える。ラガーフェルドの記憶と現在、

オートクチュールを支えるアトリエの歴史と未来、シャネルというメゾン、すべての要素が織り込まれた親密で壮大な物語が、コレクションの背後に広がっているのだ。

なかのかわり ●株式会社 Souti Nakano 代表取締役、服飾史家として研究・執筆・講演・顧問講師。日本経済新聞・読売新聞などに連載中。ケンブリッジ大学客員研究員、明治大学特任教授を歴任。著書「モードとエロスと資本」(集英社)ほか多数。



1 コレクション会場はカール・ラガーフェルドが生まれたハンブルクの港でひと際目を引く歌劇場、エルプフィルハーモニー。「数あるヨーロッパの新しい建築物のなかでも一番興味深い。スイスの建築家ユニット、ヘルツォーク&ドムールは天才だ」と絶賛するほど、都市としての新旧の魅力を放つ対象。2 刺繍のアトリエ「モンテックス」が48時間かけて仕立てたビーズのトリムと、「ルマリエ」が164時間かけて制作した羽根の装飾。そのふたつをシャネルのアトリエでイブニングドレスに仕立てていく。3 素材や完成度のチェックはもちろんコレクションのシューティングもカール・ラガーフェルド本人が手掛ける。

自然体のエレガンスをメティエダールとともに

ネイビーを基調として赤、白、ゴールドといったマリニカラーを絶妙なバランスで配し、新しいエレガンスが誕生。(右) 極上のツイードを贅沢に使ったジャケットとキュロットのセットアップ。ジレをレイヤードしているかのように見えるジャケット、スカートのように仕立てたキュロットなど驚きを宿したデザインさえも軽やかです。(右) ジャケット/682,000円 パンツ/335,000円 ネックレス/292,000円 帽子/123,000円 帽子に着けたブローチ/113,000円 バッグ/1,989,000円 (左) コレクション発表の会場となったオペラハウス「エルプフィルハーモニー」のガラスの輝きとハンブルク川の水面を表現した光るツイードが存在感を放ちます。ジャケット/1,660,000円 プルオーバー/207,000円 ネットウオーマー/101,000円 ネットウオーマーに着けたブローチ/73,000円 パンツ/282,000円 ベルト/334,000円 帽子/96,000円 帽子に着けたブローチ/64,000円 5連のネックレス/515,000円 ネックレス/194,000円 バングル/175,000円 バッグ/754,000円(すべてシャネル)

●掲載商品のお問い合わせ先は、P351をご覧ください。